地域の魅力を生かした多様な取組

県内の6地域県民局でも、地域の強みをとことん伸ばし、課題をチャンスと捉え、人口減少克服など、多様な取組にチャレンジしていきます。

冬季観光の育成と住民おすすめ観光資源のPR

［東青地域県民局］

東青地域では、北海道新幹線の開業効果の持続的獲得に向けて、通年で観光客を呼び込むため、冬季観光コンテンツの磨き上げやリピーターの獲得が課題となっています。

そこで、首都圏在住者など雪とのふれあいが少ないエリアの住民をターゲットとした冬季体験メニューを造成し、地域住民も一緒に楽しめるコンテンツの確立を目指します。

また、地域住民しか知らない四季折々の「今だけ」「ここだけ」の特別素材をつないだモデルコースの開発と、効果的な情報発信により、何度でも訪れたくなる観光地づくりに取り組みます。

荘厳な雰囲気の「黒滝」（蓬田村）

中南の地域創生 人口減少克服へ 対話・協働・連携

［中南地域県民局］

中南地域においても、人口減少や少子化・高齢化が進み、若年層の地元定着、移住・交流や少子化対策などが課題となっています。

そこで、若年層の定着に向け、工業高校での企業説明や意見交換、企業への訪問等を実施し、「対話」による高校生と地元企業の相互理解を促進するほか、移住・交流の促進に向けた管内市町村や地域づくり団体との「協働」による課題と可能性の検討、少子化対策では、弘前圏域定住自立圏で共同実施する婚活支援拠点の設置やイベント開催への支援など、広域的な「連携」やスケールメリットを生かした地域の取組をサポートします。

高校生と地元企業の相互理解促進（イメージ）

三八地域をワンパッケージで情報発信

［三八地域県民局］

八戸圏域連携中枢都市圏などの市町村の枠を越えた広域での観光振興に向けた気運が高まっていることを受け、**三八地域**を「テーマ性を持たせた一つのパッケージ」として情報発信していくこととしています。

具体的には、一体としてPRしていく管内の意識形成に向け、市町村長や行政の幹部職員、民間事業者等を対象とした広域観光フォーラムを開催するほか、テーマ別広域観光パンフレットを活用したセールス活動、身近な三沢基地や日本企業で働いている外国人と連携した取組等、三八地域の魅力をパッケージ化して世界に情報発信していきます。

種差海岸を訪れている外国人ツアー客

強みを活かした「西北の米」の競争力強化

［西北地域県民局］

経営耕地面積の8割を水田が占める**西北地域**においては、県外での業務用米としての評価向上はもちろんのこと、新たな需要獲得に取り組む農業者の育成や、生産コスト削減による収益確保が課題となっています。

そこで、多様化する業務用米市場における「西北米」の競争力を強化するため、認証GAP取得などワンランク上の米生産にチャレンジする生産者のスキルアップを支援するほか、大規模稲作経営の多い西北地域の強みを生かした低コスト技術の組み立てや農業用ドローンの実用性の検証など、低コスト生産による収益の向上を目指していきます。

農業用ドローン

かみきた 女性らく楽 農作業サポート

［上北地域県民局］

上北地域の野菜生産は機械化が進んでいますが、機械化した農作業を補助する女性の負担は大きくなり、女性農業者の約8割が腰痛等に悩んでいます。また、補助する人の確保も年々難しくなっているなど、産地の維持・発展のためには、農作業の軽労化や労働力確保が課題となっています。

そこで、女性の農作業負担を軽減するため、補助作業着の作業性の検証を行い、普及を図ります。また、大学生が農作業に参加するモデルに取り組むほか、SNSを使って積極的な情報発信などを行い若い世代に地域や農業の魅力を伝えていく予定です。

農作業に参加した女性たち

建設産業の担い手確保をプロデュース

［下北地域県民局］

建設産業は社会資本を整備・維持管理していくうえで、社会になくてはならない産業です。特に、**下北地域**では、下北半島縦貫道路・原発避難路といった、大規模な建設・整備が必要であり、高齢化する現在の建設産業従事者から、下北地域の未来を担う若者へと技術や技能を継承していくことが必要です。

そこで、小・中学生向けの建設現場見学会や、高校生向けの建設産業従事者との意見交換会等を実施し、下北地域の地域資源と建設産業の役割について理解を深め、若年層の地元建設産業への入職を図ることを通じて、若者の地元定着を促進していきます。

小・中学生向け現場見学会